

平素から統計調査にご協力
 いただきありがとうございます。
 昨年は経常調査に加え、周
 期調査の全国家計構造調査、
 経済センサス―基礎調査が実
 施されました。
 調査員の方々をはじめ、関
 係者の皆様方のご尽力により
 円滑に実施できましたことを
 深く感謝いたします。
 統計調査を取り巻く環境は
 年々厳しさを増しております。
 県といたしまして、統計調
 査への理解と協力が得られる
 よう普及・啓発に一層取り組
 んで参ります。
 今年は農林業センサス、国
 勢調査が実施されます。
 今後とも皆様方のご理解と
 ご協力のほど何卒よろしくお
 願いたします。

統計だより

第 149 号

発行/岡山県統計分析課

岡山県人口
 1,891,239人
(令和元年12月1日現在)
 岡山県毎月流動人口調査より

ごあいさつ

岡山県総合政策局
 統計分析課長
 難波 美津子

**令和元年春季
 叙勲・褒章が
 授与されました**

長年にわたり公共のために
 尽くされた統計調査員の方々
 5名に、令和元年春季及び秋の
 叙勲・褒章が、授与されまし
 た。受章者の皆様、誠におめ
 でとございます。
 (受章者の皆様の喜びのこ
 とばは本誌2〜3頁に掲載し
 ております。)

**令和元年度
 岡山県統計功労者が
 表彰されました**

令和元年11月12日、岡山市
 内において、各大臣、岡山県
 知事及び岡山県総合政策局長
 から、特に統計調査に功労が
 あつたとして、調査員と指導
 員79名及び調査協力9事業所
 が表彰されました。
 (表彰式の様子、受賞者の
 皆様について、本誌4〜5頁
 に掲載しております。)



**令和元年度
 登録調査員研修が
 開催されました**

令和元年10月、岡山市内、
 倉敷市内、津山市内及び新見
 市内において、都道府県別登
 録調査員研修が、令和元年12
 月、東京23区内において、中
 央研修が開催されました。10
 月は104名、12月は2名が
 参加しました。(各研修につ
 いて、本誌7頁に掲載してお
 ります。)

**令和元年度岡山県統計
 グラフコンクール
 最優秀受賞者が
 表彰されました**

身近な統計データをグラフ
 にして表現力を競う「岡山県
 統計グラフコンクール」の表
 彰式が令和元年11月、岡山市
 内で開催され、最優秀受賞
 者8名が表彰されました。(表
 彰式の様子、受賞者の皆様に
 ついて、本誌5〜6頁に掲載
 しております。)入賞作品42
 点は、令和元年12月に県生涯
 学習センターで展示しました。
 統計分析課ホームページに
 も掲載しています。

**令和2年度に実施される
 主な統計調査**

【総務省所管】

- ・ 国勢調査
 - ・ 労働力調査
 - ・ 小売物価統計調査
 - ・ 家計調査
 - ・ 経済センサス―基礎調査
- (国勢調査については、本誌8頁
 に掲載しております。)

【文部科学省所管】

- ・ 学校基本調査
- ・ 学校保健統計調査

【厚生労働省所管】

- ・ 毎月勤労統計調査

【経済産業省所管】

- ・ 工業統計調査

皆様のご協力を
 お願いします。



© 岡山県「ももっち・うらっち」

ご受章おめでとうございます
令和元年叙勲・褒章
受章者の喜びの声

春の叙勲《瑞宝単光章》

「信用いただける
 ことが大切」

国勢調査員
 首藤 一郎さん
 (真庭市)



統計調査員の成り手がいなくなった時、当時勤務していた役場(旧落合町)から依頼されたのがきっかけでした。

初めての調査は、昭和41年の商業統計調査でした。その後、主に国勢調査に昭和45年から平成22年まで、そのほか工業統計などに従事いたしました。調査票の内容の誤りや記載

漏れを調査対象者の方に確認しながら根気よく修正していくことには苦労しましたし、

役場の仕事が忙しかったこともあり、その合間に統計調査員として活動することは大変でしたが、調査対象者の方から「ご苦労様です。」と言っていたときは、大変うれしく思いました。

調査票には、個人情報が多く記載されていることから、統計調査員として調査対象者の方に信用していただけることがとても大切だと思います。特に自分が住んでいる地域を担当する場合には、日頃から信頼関係を築いておくことが大切だと思います。

最近では、健康維持のためにウォーキングをしています。今後は、ペタンクやグラウンドゴルフなど、体力が続く限り、いろいろな趣味を楽しみたいと思っています。

春の叙勲《瑞宝単光章》

「今後も笑顔と責任を
 持って続けていきたい」

各種統計調査員
 山下 ちさとさん
 (倉敷市)



地域の役員の方から声を掛けられ、昭和55年に初めて国勢調査に従事して以来、商業統計や工業統計など様々な調査に従事してきました。

調査員を始めた当時は、住宅や事業所は少なく、「国民の義務として調査に協力しなければならぬ」という雰囲気がありました。私自身も、強い使命感を持って一生懸命に務めてきました。調査に消極的な調査先に根気強く足を運んで、理解していただけたときはとても嬉しく、特にやりがいを感じます。

近年は、個人情報の問題や意識の変化により、調査に協力していただくための工夫が

必要となっているので、菜園や書道、夫婦での旅行などで上手に気分転換もしながら、再訪問を重ねています。

最後に、関係者の方々のご指導の下、調査に携わることができ、深く感謝申し上げます。また、永年にわたりご協力いただいた事業所並びに地域の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も笑顔と責任を持って続けていきたいと思えます。

春の褒章《藍綬褒章》

「状況に応じた対応に
 心掛けることが大切」

国勢調査員
 三宅 緋和子さん
 (岡山市)



私が40歳の時に地元の町内会副会長の方から声を掛けていただき、国勢調査に従事したのが最初でした。当時、婦

人会の副会長をしていたこともあって、担当地区の調査対象の皆様が気持ちよく調査に協力してくださり、大変助かりました。最後は、亡くなった夫と夫婦そろって統計調査員として国勢調査に携わったことが思い出です。

調査対象者の方に対しては、礼儀正しく、節度を持って接するとともに、気持ちよく調査に協力していただくために個々の調査対象者の方の状況に応じた対応に心掛けることが大切だと思います。あまり深入りできませんし、かといって遠慮ばかりもできませんので、そのあたりが難しいと感じます。

統計調査の結果は、行政の施策の基となることから統計調査員としての役目をきちんと果たせるよう努力してまいりました。将来に向けての行政の施策に少しでも役立つたいと思っています。

今回の私の受章が他の統計調査員の方々の励みになっていただければうれしく思います。コツコツと地道に活動していると、誰かが認めてくれると思っています。たいと思っています。

秋の叙勲《瑞宝単光章》

「地域のために、

一生懸命やり抜くこと」

国勢調査員

小池 恵子 さん

(総社市)



市役所への就職、そして結婚と生活環境の変化にも慣れて落ち着いてきた頃、前任の統計調査員の方からの薦めで、28歳の時に初めて国勢調査に従事して以来、国勢調査には計9回携わらせていただきました。

調査区が自分の住んでいる地域の場合には、近所の方々と普段から信頼関係を築けていたこともあって、スムーズに安心して調査を行うことができましたが、不慣れな地域では、訪問先の家の前で緊張したと、話を聞いていただけなこともありました。そんな時、国の重要な調査であることを丁寧に説明し、ご理

解いただけたときはとても達成感がありました。

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」を座右の銘として与えられた仕事をやり遂げることだけを考えて、地域のために一生懸命やり抜くことが大切だと思っています。

調査にご協力いただいた地域の皆様、調査活動を支えてくださった関係者の方々に心から感謝したいと思います。

秋の叙勲《瑞宝単光章》

「身なりや態度に
気を配って謙虚に」

各種統計調査員

森永 美代子 さん

(玉野市)



私が市役所で臨時職員をしている時、市職員の方からお願いされて昭和50年の国勢調査に従事したのが最初でした。以来、工業統計調査、商業統計調査や事業所・企業統計

調査など各種統計調査に従事させていただきました。

調査活動を通じて幅広い業種の方々と関わることができて、大変勉強になったと思います。

また、調査対象の皆様が、断ることなく調査に応じてくださったのがとてもうれしく感謝しております。

私が調査活動するに当たって心がけてきたことは、身なりに気を付け第一印象を良くし、礼儀正しく失礼のないように気を配って、謙虚に調査への協力をお願いすることでした。

また、調査票情報の取り扱いに注意して、調査対象者との信頼関係を一番大切にもしていました。

長い間、調査員の活動を続けることができたのは、皆様のご指導、ご支援の賜物とこの場をお借りして、お礼申し上げます。

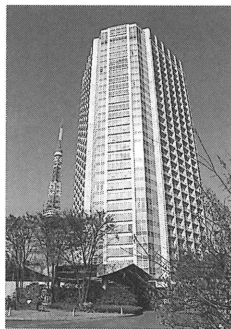


令和元年秋の叙勲 勲章伝達式

令和元年12月10日(火)、ザ・プリンスパークタワー

東京(東京都港区)で秋の叙勲勲章伝達式が行われました。

本県からは、小池恵子さん(総社市)と森永美代子



さん(玉野市)が出席されました。

勲章伝達式では、小池恵子さんが、瑞宝単光章を受章された皆様を代表して、高市早苗総務大臣から勲章と勲記を受け取られました。



高市総務大臣から勲章と勲記を受け取られる小池恵子さん

令和元年度 岡山県統計功労者・統計 グラフコンクール表彰式を開催しました

令和元年11月12日、岡山市内
内で表彰式を開催し、多年に
わたり統計調査に尽力され、
統計の発展に寄与した功績が
特に顕著であった調査員79名
及び調査協力9事業所の方々
を表彰いたしました。

また、令和元年度岡山県統
計グラフコンクールに応募の
あった248点の中から最優
秀賞に選ばれた6点(8名)
を表彰いたしました。(敬称略)

県統計功労者・ 優秀賞受賞者のみなさま

岡山県 統計功労者の紹介

【総務大臣表彰】



- ▽労働力調査
宮田浩士(倉敷市)、廣見
治子(津山市)、水島始(鏡
野町)
- ▽家計調査
米地千恵(岡山市)
- ▽平成30年住宅・土地統計調
査(調査員)

- 高原時子(岡山市)、西本
三枝子(津山市)
- ▽平成30年住宅・土地統計調
査(指導員)
- 枘谷和明(真庭市)、島田
隆章(美咲町)

【厚生労働大臣表彰】



- ▽各種統計調査
光田公美(倉敷市)、河上
晃之(井原市)

- ▽毎月勤労統計調査
株式会社クルーズ、株式会
社ソラスト岡山支社、内海産
業株式会社、長安鉄工株式会
社、株式会社ニトリ岡山奥田
店(岡山市)、株式会社コー
セイカン、小橋金属株式会社

- (倉敷市)、株式会社プラスワ
ン(総社市)、他1事業所
小玉節子(岡山市)

【農林水産大臣表彰】

- ▽漁業センサス
吉田厚子(笠岡市)

【経済産業大臣表彰】



- ▽構造統計調査
辻和夫、鶴峯米子、西村弘
子、藤原春子、藤原洋子、若
松悦子、渡邊郁子(岡山市)、
井元敏憲、岩中恭子、岡本満
壽美、尾崎文子、小野和代、
亀井明美、川口史江、小玉美
幸、本山真理、山本和美、

- 渡邊真由美(倉敷市)、天野
いづみ、河上早苗、小寺瑞子、
西原珠生(笠岡市)、逸見佳
美(総社市)、梶原安子(新
見市)、岡本優子、中村由美(備
前市)、浦上勝恵、役重廣子(瀬
戸内市)、徳武和子(赤磐市)、
竹内和子(矢掛町)、他1名

【岡山県知事表彰】



- 古南隆子、中野留美代、難
波和美、萩森悦子、山本昌美
(岡山市) 大森洋子、小野和子、
鎌田栄子、鳥羽周二、中田勝
子、平井勇、藤澤和子、藤原
淑子(倉敷市)、小原恭子、
杉本美恵子(津山市)、山田
久美子(玉野市)、吉田厚子(笠



岡市)、江川昭則(新見市)、佐々井智美(備前市)、太田明押目(真庭市)、竹内和子(矢掛町)、他1名

令和元年度 岡山 統計グラフコンクール最



福田泰人(岡山市)、金ヶ江正敏、武内千賀子、竹上慶子、田中美樹、坪倉博、蛭田純司(倉敷市)、廣谷喜代美(井原市)、青木信治、金崎文博、

【岡山県総合政策局長表彰】



佐藤副知事に謝辞を述べられる平井勇さん

被表彰者を代表して、岡山県知事表彰を受賞した平井勇さんが、「このような表彰の榮譽に浴し、身に余る光栄に感激しております。今後より一層、統計の普及と進展に尽力してまいります。ご支援をよろしく願っています。」と謝辞を述べられました。

代表謝辞

山本京子(真庭市)、有瀬ます子(美作市)、西山富雄(浅口市)



岡山県統計グラフコンクール最優秀賞受賞者・受賞作品の紹介

- ◆第1部(小学1・2年生の部)
総社市立総社小学校
1年 大久保翔太
- ◆第2部(小学3・4年生の部)
岡山市立大元小学校
3年 前島遼三
- ◆第3部(小学5・6年生の部)
総社市立総社中央小学校
6年 桑田交優・三宅康太郎
廣惠勇揮

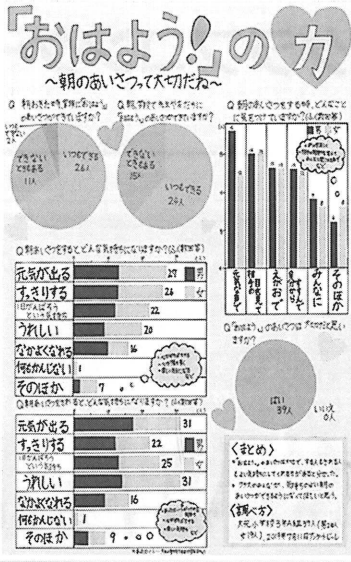


表彰式当日の様子

- ◆第4部(中学生の部)
岡山大学教育学部附属中学校
2年 佐野文音
- ◆第5部(高校生以上、一般の部)
岡山県立倉敷青陵高等学校
3年 藤原伊織
- ◆パソコン統計グラフの部
(小学生以上)
専門学校岡山情報ビジネス学院
2年 中村理佐子

令和元年度

岡山県統計グラフコンクール最優秀賞受賞作品の紹介

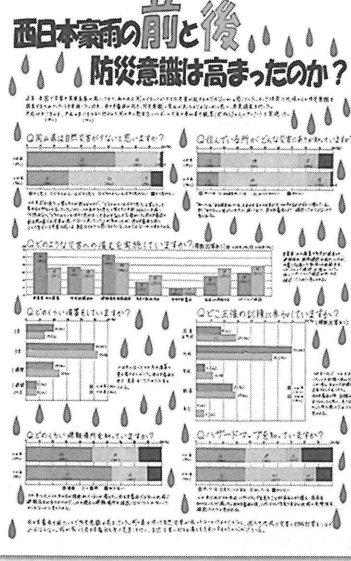
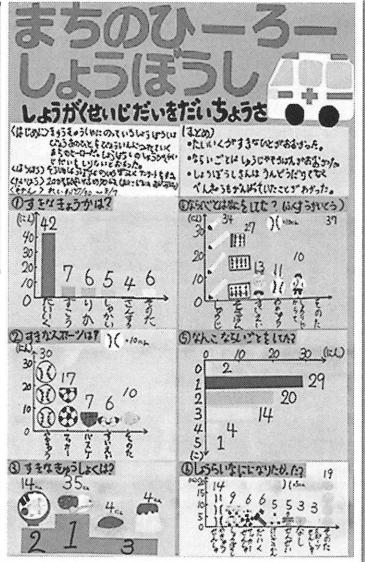


第1部 (小学1・2年生の部)
 総社市立総社小学校 1年 大久保翔太

消防士の小学生時代というユニークな発想でアンケート調査を行い、グラフにまとめたものです。調査結果が上手にまとめられており、デザインも素晴らしい作品です。

第2部 (小学3・4年生の部)
 岡山市立大元小学校 3年 前島遼三

朝の挨拶について、クラスみんなにアンケート調査をしたものです。タイトルが素晴らしく、着眼点も優れていて、子どもたちの表情が浮かぶようだと高く評価されました。

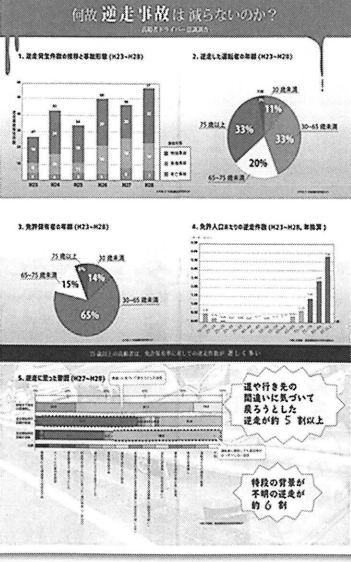


第3部 (小学5・6年生の部)
 総社市立総社中央小学校 6年 栗田交優、三宅康太郎、廣恵勇揮

タイムリーなテーマで4年生から6年生までにアンケート調査したものです。デザインが工夫され、見ていると楽しくなる作品です。

第4部 (中学生の部)
 岡山大学教育学部附属中学校 2年 佐野文音

西日本豪雨による防災意識の変化をテーマに、地域住民にアンケート調査を行って作成したものです。自然災害の発生が注目される中でそのメッセージ性が高く評価されました。

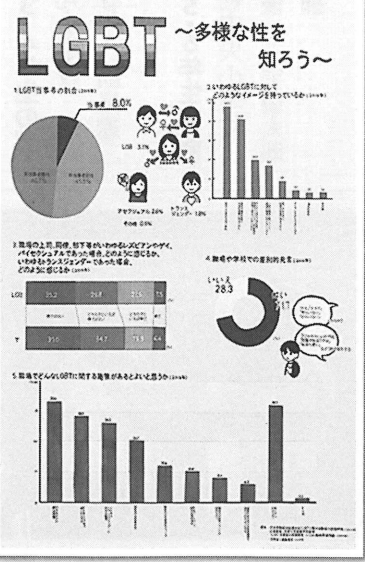


第5部 (高校生以上、一般の部)
 岡山県立倉敷青陵高等学校 3年 藤原伊織

LGBTとは、性的少数者、セクシャルマイノリティを表す言葉の一つです。人権問題をテーマに、繊細かつ丁寧に描いている点など、見やすく描かれている点が高く評価されました。

パソコン統計グラフの部 (小学生以上)
 専門学校岡山情報ビジネス学院 2年 中村理佐子

高齢者ドライバーの逆走事故をテーマに適切なデータを収集し、バックに写真も活用したパソコンらしい色づかいで見やすく、メッセージ性がある点が高く評価されました。



令和元年度

登録調査員中央研修に参加して

令和元年12月12日(木)と13日(金)の二日間、総務省統計局で登録調査員中央研修が開催され、本県からは、山田久美子さん(玉野市)と三田節子さん(笠岡市)が参加されました。

1 研修内容

- (1) 講義①「統計調査に活かすアサーションスキルと共感力研修」
- (2) 班別討議
- (3) 講義②「統計調査に活かす交渉術・クレーム対応・アンガーマネジメント」

2 参加した感想



山田久美子さん(玉野市)

相手に合わせながらも相手の言いなりにならず、伝えなければならぬことはきっちり伝えるアサーションスキルは、統計調査員には非常に大切なことだと痛感しました。

班別討議では日本各地で活躍されている調査員の方の苦労話を聞いて、私など苦労しているうちには入らないと思いましたが、今回の貴重な研修を今後の調査活動に活かせるよう頑張っていきたいと思います。



三田節子さん(笠岡市)

第一印象は大切に表現の仕方、相手の第一印象を与えられること、相手の話を真摯に受け止めて同意ではなく共感すること、クレームに対しては相手に込められた思いや気持ちを理解(共感)した上で対応することなど、日頃気を付けて接しているつもりでしたが、とても参考になりました。

班別討議では、皆さんそれぞれが工夫されながら活動されている様子に熱意を感じ、私自身も参考にして、信頼される調査員を目指して努力していきたいと思えます。

令和元年度都道府県別

登録調査員研修を開催しました

令和元年10月に岡山市(2日)、津山市(3日)、倉敷市(9日)及び新見市(10日)で登録調査員研修を開催し、計104名の方に参加いただきました。

初めに津本泰雅講師から、「オンライン調査について」、「オンライン調査デモ操作実習」、「応接・クレーム対応」についての講義、最後に全員で、日頃の調査活動で成功した事例、困った事例などについて情報交換しました。

1 講義

(1) オンライン調査について

オンライン調査導入率は、この10年間に年々上昇しており、2018年度は8割を超えていることやオンライン調査は、報告者だけでなく調査員にもメリットがあることなどの説明を受けました。

(2) オンライン調査デモ操作実習

2人一組となって実際にタブレット機器を使用して、前回平成27年国勢調査の調査票



(3) 応接・クレーム対応

への入力を体験しました。身だしなみ、言葉遣いや表情など第一印象を良くすると物事が好意的に解釈されやすいこと、相手に受け入れてもらえるように伝えるためには、明確に、はっきりと、わかりやすい言葉で「正確性」と「温かさ」をもって話すことの大切さを学びました。



また、クレーム対応として、①謝罪、②傾聴・状況把握、③今後の具体的対応策の提示、

2 班別意見交換

④お詫びと感謝の意を伝えるといった手順を学びました。初めに自己紹介、次に成功事例、困難だった事例(解決した場合はその対応策や方策)について話し合いました。



調査関係書類(調査票・調査員証等)の取り扱いにご注意ください!

置き忘れや盗難等で紛失することのないよう細心の注意を払ってください。

万一、関係書類を紛失した時は、速やかに県や市町村の担当者に連絡してください。

令和2年2月1日現在で、 農業センサスが 実施されます

農業センサスは、農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにする国の統計調査です。

【調査期日】

令和2年2月1日現在

【調査対象】

一定規模以上の農業又は林業を営んでいる方、農林業を委託している方(世帯及び組織)全てが調査対象となります。

【調査事項】

世帯の状況、労働力、経営の態様、経営の特徴、耕地、農業生産の概況、山林・林業作業、素材生産、農産物・林産物の販売、農作業・林業作業の受託など

【調査の方法】

統計調査員が12月中旬から調査票を世帯ごとに配布します。

世帯は2種類の提出方法が選べます。①調査票を統計調査員へ提出、②インターネットにて回答

令和2年 国勢調査が 実施されます



令和2年10月1日、日本に住む全ての人を対象として、全国一斉に「国勢調査」が実施されます。

実際の調査は、9月中旬から調査員が各世帯に伺い、調査票を配布します。調査内容は、男女の別、出生の年月、就業状態、仕事の内容など、全部で16項目です。

調査結果は、国や地方公共団体が各種施策等を行っているための基盤資料となっているほか、コンビニの出店計画をはじめとした民間の活動にも利用されるなど、貴重な統計データとして幅広く利用されています。

国勢調査は、大正9年(1920年)に第1回目の調査が実施されて以来、我が国で最も基本的かつ重要な統計調査として、本年度百年の節目を迎えます。

百年前の調査開始当時は、これがどのような調査かもわからないまま、一等国の仲間

入りだと国民挙げてのお祭り騒ぎとなったほか、変わった話では、それまで知られていなかった集落が各地の山中で発見されるなど、今では考えられないような話もあつたそうです。

今回は令和最初に行われる国勢調査として、人口減少、少子・高齢化など社会構造の変化が進む中で実施する、従前にも増して重要な調査となります。

そのため、例えば教育の状況を把握する調査事項においては、「未就学」の選択肢の一つとして「認定こども園」を追加するなど、内容に一部見直しが行われています。

また、前回調査から導入されたインターネット回答を積極的に推進することとしています。インターネット回答方式では、入力内容に誤りがないかどうかをオンライン調査システムでチェックすることにより、統計精度の維持・向上に寄与するほか、インターネット回答世帯に対しては調査員による戸別訪問の必要がなくなるなど、調査員の負担軽減が期待されます。

このほか、目の不自由な方向に向けたオンライン調査システムの音声読み上げ機能の整備や、耳の不自由な方向に向けてはSNS等を活用したチャット形式による問い合わせ窓口の整備など、多様な支援体制を整え、誰もが答えやすいバリアフリーな調査になります。

国勢調査に御理解いただき調査に御協力をお願いいたします。現在、調査員の募集をしている市町村もありますので、興味のある方は、統計担当窓口にお問い合わせください。

総務省統計局の キャンペーンサイト

(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>)
が開設されていますので、こちらも御覧ください。



発行・お問い合わせ先

岡山県総合政策局統計分析課
〒700-8570
岡山市北区内山下二丁目4-6
◆TEL 086-226-7258
◆FAX 086-221-8240
◆Email: toukei@pref.okayama.lg.jp
◆ホームページ
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/15/>

統計の信頼性と正確性の確保に向けて

統計調査員は、統計調査の仕事の中でも最も基本的かつ重要な部分を受け持っています。

統計調査員一人ひとりの取り組みが統計に対する信頼性や正確性を左右することになり、ひいては、それを利用して行われる施策の方向性にも影響を与えることとなります。

適正な統計調査の実施をお願いします!!